

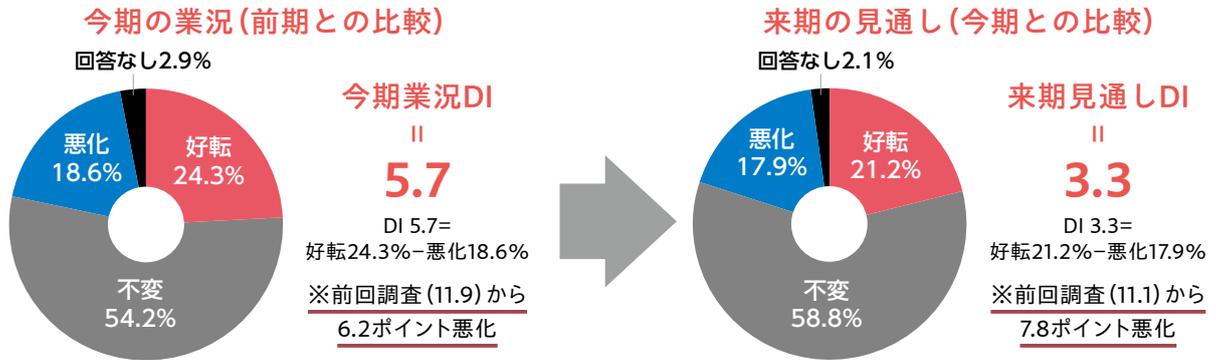
世田谷区における中小企業の景況

世田谷区の事業者様を対象に、賃上げへの対応状況に関する付帯調査を実施しました。詳細は右の二次元コードからご覧ください。



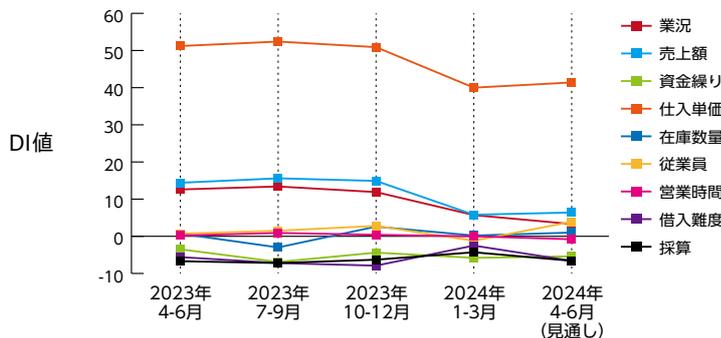
業況

今期(2024年1~3月期実績)の業況DIは、+5.7ポイントで前期から▲6.2ポイント悪化した。
来期の業況見通しDIは+3.3ポイントとなり、前回調査より▲7.8ポイント悪化する見通し。



主な指標別の傾向

今期は、借入難度▲2.5(前期比+5.4)、採算▲4.3(同+2.0)の2指標でポイントが増加したが、それ以外は減少した。来期見通しでは、従業員+3.9(当期比+5.1)、仕入単価+41.4(同+1.4)、在庫数量+1.0(同+0.8)、売上額+6.4(同+0.6)、資金繰り▲5.4(同+0.4)など5指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	12.6	13.4	11.9	5.7	3.3
売上額	14.4	15.6	14.9	5.8	6.4
資金繰り	▲3.5	▲6.9	▲4.4	▲5.8	▲5.4
仕入単価	51.2	52.4	50.9	40.0	41.4
在庫数量	0.7	▲3.0	2.6	0.2	1.0
従業員	0.7	1.5	2.8	▲1.2	3.9
営業時間	0.2	0.9	0.4	0.0	▲0.8
借入難度	▲5.6	▲7.2	▲7.9	▲2.5	▲6.6
採算	▲6.7	▲7.2	▲6.3	▲4.3	▲6.6
	2023年 4-6月	2023年 7-9月	2023年 10-12月	2024年 1-3月	2024年 4-6月 (見通し)

主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	5.7	10.5	5.8	15.1	▲5.8	40.0	0.2	▲1.2	0.0	▲2.5	▲4.3
製造業	8.5	10.2	6.8	22.0	0.0	52.5	8.5	0.0	0.0	5.1	6.8
建設業	7.2	17.5	7.2	18.6	▲4.1	47.4	6.2	2.1	5.2	▲3.1	0.0
不動産業	21.5	23.1	27.7	21.5	4.6	27.7	▲7.7	0.0	0.0	▲9.2	1.5
卸売業	▲23.7	▲20.3	▲18.6	▲13.6	▲15.3	37.3	▲10.2	▲6.8	▲1.7	▲3.4	▲23.7
小売業	14.3	25.5	11.2	30.6	▲14.3	57.1	2.0	▲4.1	▲1.0	▲7.1	▲5.1
サービス業	2.2	2.2	0.7	8.0	▲4.4	24.1	▲0.7	0.0	▲2.2	1.5	▲5.8

主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	3.3	6.4	▲5.4	41.4	1.0	3.9	▲0.8	▲6.6	▲6.6
製造業	27.1	32.2	3.4	49.2	3.4	15.3	▲1.7	0.0	11.9
建設業	▲8.2	▲3.1	▲4.1	52.6	2.1	1.0	1.0	▲8.2	▲19.6
不動産業	▲3.1	3.1	▲1.5	32.3	▲1.5	3.1	▲1.5	▲9.2	▲1.5
卸売業	▲11.9	▲6.8	▲10.2	42.4	▲5.1	▲3.4	6.8	▲8.5	▲15.3
小売業	14.3	17.3	▲5.1	54.1	9.2	8.2	0.0	▲5.1	▲7.1
サービス業	2.9	1.5	▲10.2	24.8	▲2.9	1.5	▲5.1	▲7.3	▲3.6

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景気(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景気が低迷の傾向にあることを示します。